

活況呈するインバウンド市場

インバウンド 訪日外国人旅行者が増え続
け、大きな経済効果を生んでいる。昨年の訪日
客数は、過去最高の319万人を記録した。
インバウンド市場の現状と政府の取り組みを解
説するとともに、今後の課題について大阪観光
大学の鈴木勝名教授に聞いた。

訪日消費額4.5兆円に

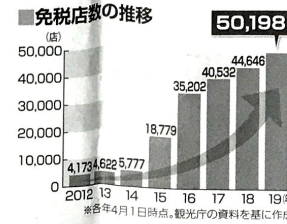
地方にも1800万人訪問

インバウンド市場の活性化は、2012年に自公連携の政策が定まり以降、特に顕著だ。12年と18年のデータ(観光庁)を比較すると、訪日外国人旅行者数は836万人から1938万人へ約2.3倍増、消費額は1兆1100億円から4兆5000億円へ約4倍増となっている。

訪日外国人旅行者数は、18年に比べて約1.3倍増、消費額は約4.5倍増となっている。地方への訪日外国人旅行者の増加も顕著で、18年には約1800万人、消費額は約1兆1100億円と、12年に比べて約2.3倍増、約4倍増となっている。

項目	2012年	2018年	変化幅
訪日外国人旅行者数	836万人	319万人	2283万人増
訪日外国人旅行消費額	1.1兆円	4.5兆円	3.4兆円増
訪日外国人地方訪問者数	383万人	1800万人	1417万人増
外国人リピーター数	528万人	1938万人	1410万人増

※観光庁の資料を基に作成



免税店制度 初めて5万店を突破

政府は観光振興と成長戦略の一環として、ビザ査定の柱に位置付け、ビザ査定の緩和や消費税の軽減など、戦略的な緩和や消費税率の引き下げなど、観光振興策の拡充、出入国管理体制の充実、航空ネットワークの拡大などに取り組んできた。

ビザについては19年には一定の国や地域を対象に、C集積回路チップ付き旅行券所持者に対する免除のほか、有効期間内など何回でも出入国できる「数次ビザ」の導入や発給要件の緩和などを実施した。

訪日客がビザ緩和の1年間で約5割増加したほか、ロシアからの訪日客が約4割増えるなどの効果も生じた。ビザ制度については、14年10月の税関取扱いを第一弾として毎年のように拡充。商店街などで税関手続を一括処理できるカウンター導入や最低購入金額の引き下げなどで訪日客の利便性を高め、国内消費を喚起してきた。

訪日客の増加に伴って、地方にも訪日客が増え、地方の活性化も進んでいる。地方への訪日客の増加は、地方の活性化に大きく貢献している。地方への訪日客の増加は、地方の活性化に大きく貢献している。



すずき・まさる JTBAアジア・取締役日本支社長、大阪観光大学教授を経て2008年4月から現職。桜美林大学教授なども歴任。

大阪観光大学 鈴木勝名教授に聞く
インバウンド市場の現状をめぐって、訪日外国人旅行者が増え続けている。訪日外国人旅行者数は、18年に比べて約1.3倍増、消費額は約4.5倍増となっている。地方への訪日外国人旅行者の増加も顕著で、18年には約1800万人、消費額は約1兆1100億円と、12年に比べて約2.3倍増、約4倍増となっている。

旅行に使われたお金が日本経済を潤しているのは限らない。例えば、訪日客は多い中国系約840万人の旅行手配をしているのは中国系の旅行会社だ。また、宿泊も中国系系のホテル、ガドも中国人となる。日本における経済効果は限られてしまえば、非

旅行に使われたお金が日本経済を潤しているのは限らない。例えば、訪日客は多い中国系約840万人の旅行手配をしているのは中国系の旅行会社だ。また、宿泊も中国系系のホテル、ガドも中国人となる。日本における経済効果は限られてしまえば、非

旅行に使われたお金が日本経済を潤しているのは限らない。例えば、訪日客は多い中国系約840万人の旅行手配をしているのは中国系の旅行会社だ。また、宿泊も中国系系のホテル、ガドも中国人となる。日本における経済効果は限られてしまえば、非

旅行に使われたお金が日本経済を潤しているのは限らない。例えば、訪日客は多い中国系約840万人の旅行手配をしているのは中国系の旅行会社だ。また、宿泊も中国系系のホテル、ガドも中国人となる。日本における経済効果は限られてしまえば、非

旅行に使われたお金が日本経済を潤しているのは限らない。例えば、訪日客は多い中国系約840万人の旅行手配をしているのは中国系の旅行会社だ。また、宿泊も中国系系のホテル、ガドも中国人となる。日本における経済効果は限られてしまえば、非

旅行に使われたお金が日本経済を潤しているのは限らない。例えば、訪日客は多い中国系約840万人の旅行手配をしているのは中国系の旅行会社だ。また、宿泊も中国系系のホテル、ガドも中国人となる。日本における経済効果は限られてしまえば、非

旅行に使われたお金が日本経済を潤しているのは限らない。例えば、訪日客は多い中国系約840万人の旅行手配をしているのは中国系の旅行会社だ。また、宿泊も中国系系のホテル、ガドも中国人となる。日本における経済効果は限られてしまえば、非

旅行に使われたお金が日本経済を潤しているのは限らない。例えば、訪日客は多い中国系約840万人の旅行手配をしているのは中国系の旅行会社だ。また、宿泊も中国系系のホテル、ガドも中国人となる。日本における経済効果は限られてしまえば、非

旅行に使われたお金が日本経済を潤しているのは限らない。例えば、訪日客は多い中国系約840万人の旅行手配をしているのは中国系の旅行会社だ。また、宿泊も中国系系のホテル、ガドも中国人となる。日本における経済効果は限られてしまえば、非

旅行に使われたお金が日本経済を潤しているのは限らない。例えば、訪日客は多い中国系約840万人の旅行手配をしているのは中国系の旅行会社だ。また、宿泊も中国系系のホテル、ガドも中国人となる。日本における経済効果は限られてしまえば、非

旅行に使われたお金が日本経済を潤しているのは限らない。例えば、訪日客は多い中国系約840万人の旅行手配をしているのは中国系の旅行会社だ。また、宿泊も中国系系のホテル、ガドも中国人となる。日本における経済効果は限られてしまえば、非

旅行に使われたお金が日本経済を潤しているのは限らない。例えば、訪日客は多い中国系約840万人の旅行手配をしているのは中国系の旅行会社だ。また、宿泊も中国系系のホテル、ガドも中国人となる。日本における経済効果は限られてしまえば、非

経済 ECONOMY

国の戦略が機運を醸成

常にもつけない。日本がもつ前に出動くなり、一定の規制をかけるなどして効果を上げる必要がある。

訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

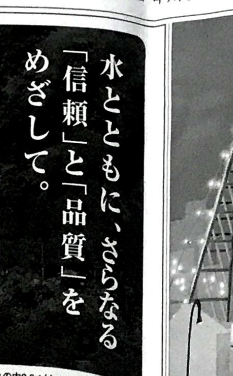
訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

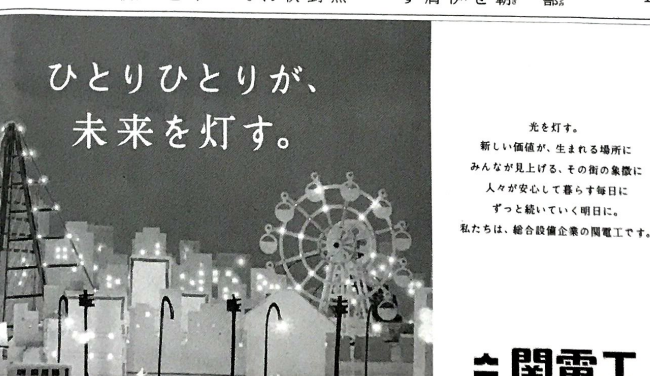
訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め

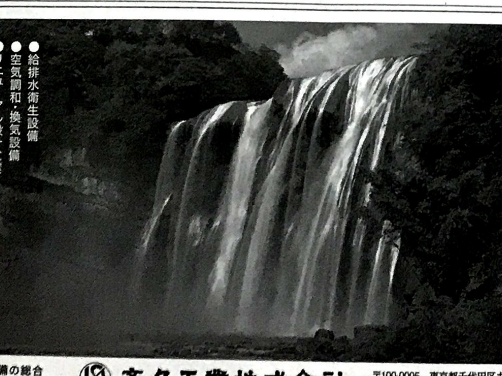
訪日外国人旅行者が増えている理由は、政府、自治体、民間など連携して観光振興を進め



中川学



ひとりが、未来を灯す。



水とともに、さらなる「信頼」と「品質」をめざして。

月を流るるるる 1
有明 澤田暉子

薄雲に輪郭をにじませた。弦の音が、戸の中まで淡い月影を落している。胸裏にたれかかたまろしている朝

の関心はもつぱら身出世に向けられていた。大國の受領の任を切望し、ほうぼうに熱心な働きかけを続けた。現在、東宮(皇太子)の外相として権勢を握る藤原長元は早くから辞を低くしてすりよ

大江山はもと、累代の幸者の家柄だが六十歳で亡くなった徳衛は、当代一の碩学の名をほしいままにしながらも、そ

ふわあ大きなおひなをいかに、これが時代であれば、傍らの人の無

光を灯す。新しい価値が生まれる場所にみんなが見上げる。その街の象徴に人々が安心して暮らす毎日。ずっと続いていく明日に。私たちは、総合設備企業の関電工です。



すずき・まさる JTBAアジア・取締役日本支社長、大阪観光大学教授を経て2008年4月から現職。桜美林大学教授なども歴任。

大阪観光大学 鈴木勝 名誉教授に聞く

——インバウンド市場の現状をどう見ますか。

鈴木勝名誉教授 東日本大震災があつた2011年以降、訪日外国人旅行者数がほぼ毎年20%以上の伸び率になっている。海外では、観光立

国を掲げる国でも伸び率は10%未満が大半であり、これほど伸び率が高い国はない。この点は、非常に好調と言える。

一方、訪日客による消費が大幅に増えているが、日本の

旅行に使われたお金が日本経済を潤しているとは限らない。例えば、訪日客で最も多い中国人約840万人の旅行手配をしているのは中国系の旅行会社だ。さらに宿泊も中国系の民泊、ガイドも中国人となると日本における経済効果は限られてしまうため、非

る体制や機運が整ってきたことが大きい。今では観光と直接関係のない業界も関心を示すようになってきた。国として観光戦略を策定し、マーケティングや広報宣伝、統計発表などに取り組んでいる成果だ。施策としては、特にビザの発給要件の緩和が、訪日客

水準の戦略や広報宣伝を展開する自治体も増えている。地方の意識も変わってきた。一方、交通や施設などのフリーパスは地域や事業者ごとに実施している場合が多いが、もっと広域で多様に使えるようにすれば、さらに地方へ足を運んでもらえるように

国の戦略が機運を醸成

常にもつたない。日本人がもつと前面に出て動くなり、一定の規制をかけるなどして効果を上げる必要がある。

——訪日外国人旅行者が伸びている要因は。

鈴木 政府、自治体、民間と国を挙げて観光振興を進め

の増加に貢献している。

——近年は、地方への誘客が主要な課題に挙げられていますか。

鈴木 以前と比べると、かなり進んできていたことは間違いない。独自にインバウンドの詳細な統計を調査し、高

なるだろう。

——インバウンド観光のさらなる活性化に向けた課題は。

鈴木 現在の訪日客は、中国や韓国など東アジアに偏っている。伸びしろが大きい東南アジアや欧米に対する情報

統計の多言語化で投資呼び込め

発信を強化すべきだ。その際、外国人の視点に立つことが重要だ。相手の国の専門家と一緒に効果的なアピール方法やマーケティングを考える必要がある。

また、統計を多言語で発信すれば、海外からの投資にもつながるだろう。

そして一見、無関係に見えるが、アウトバウンド（日本人海外旅行者）の強化もインバウンドの活性化に重要だ。例えば、せつかく地方に格安航空会社（LCC）の直行便を誘致しても、帰りの便が帰国する外国人だけでは航路が持たない。アウトバウンドで得た相手の国の知見は、インバウンドのマーケティングにも役立てることができる。